

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わんぱくクラブ三軒茶屋		
○保護者評価実施期間	2025年11月12日		2025年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年11月12日		2025年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の状態や好みに合わせた集団活動を企画・実施できている	集団活動のプログラムを利用者の状態・好みに合わせた内容を企画、実行、振り返り、修正を行っている。 定期的に行う活動(リトミック、音楽遊びなど)と新しい活動を取り入れるようにしており、安定した活動を好む利用者、新しい活動に興味関心のある利用者それぞれに対応できている。	理解度や本人のできること、個人個人に応じた補助具やルール設定、視覚的な情報ツールなどの作成をする
2	地域との関わりを持てる活動を行っている	学校の長期休業日などは買い物学習と称して、近隣のスーパーに買い物に出かけている。店員さんも利用者の顔を覚えてくれており、フォローしてくれることもある。 他団体のイベントに法人として参加し、利用者がイベントブースの店番や役割を担い、地域の方々と触れ合う機会を設けている。	買い物学習で出かける店舗や公園など外出先の範囲を広げる。 地域のイベント、他団体の催し物などにも活動として積極的に参加する。
3	ミーティングによる、ヒヤリハット・利用者の情報共有・支援対応の共有ができています	毎日保育前後(出勤時間にズレがあるスタッフにも保育中)に直近のヒヤリハット・利用者情報を共有している。 保育後には、一人の利用者にフォーカスを当てた話し合いを行い、支援計画作成のための情報収集の場となっている。 活動プログラムに関する振り返りを行い、次回の活動に向けて改善点などを話し合っている。	各記録の形式の修正、具体的な内容・対応方法などの記載を徹底し、口頭での説明がなくても書面を見るだけで把握できるように形にする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療機関、他事業所との連携や自立支援協議会への参加ができていない。	管理者の業務負担(業務量や会議への参加頻度)が多いため時間が捻出できていない。 業務の効率化(PCスキルUP、ICTの活用)に取り組めていない。	他職員への業務の分散、放デイ事務ソフトやAI等の導入、効率化を図る。
2	必須研修は受講しているが、スキルアップのための研修の受講に関して職員間で差がある。	現在、正社員はオンラインサービスでの動画視聴研修を設定しているが、視聴タイミングは個人任せになっている。 非常勤職員については、必須研修の案内はしているものの、自己研鑽用のツールの提供ができていない。	正社員のオンラインサービスでの動画視聴研修のタイミングを揃え、管理者がチェックをする。 研修で学んだことをミーティングで発表する。 非常勤職員にもオンラインサービスでの動画視聴研修を受けられるように環境を設定する。
3	保護者やきょうだい児などの家族支援が十分にできていない。	年2回、保護者会で保育の様子を写真や動画を使って説明したり、夏休み保育への一日体験など実施しているが、就労されている保護者も多く、参加率が少ない。 保護者の参加しやすい日時などの設定を行う必要がある。	土曜日の活動で、保護者やきょうだい児が参加できる活動を企画する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 わんぱくクラブ三軒茶屋

公表日 2026年3月26日

利用児童数 26名

回収数 16名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	1	3	3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16			1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	13	2	1	1		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17					
	29	事業所の支援に満足していますか。	17					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		わんぱくクラブ三軒茶屋					公表日	2026年3月26日
		チェック項目	はい	いいえ	わからない・未記入	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			常時、緊急時においても対応ができるように余裕を持った配置にしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1		集団の活動ではプログラムや利用者の写真など視覚的に理解しやすいものを使用している。 床のフローリング面積は多いが、マットを充分に使用し、安全強化を図っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		変化する利用者の状況に応じて設定の配慮をしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			紙ベースだけではなく、情報や意見交換の場として毎日保育前後のミーティングを設定している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			保護者の声を職員の意識に落とし込めるよう伝達されている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			日々、スタッフの声を吸い上げられるよう場を設けており、改善につなげている。。	個々人の声が届けやすいグループや個人との面談の場の設定が足りていない。定期的な面談を設定する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			送迎中心のスタッフにも、直近の利用者の状態・注意事項など適宜共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			活動プログラム立案者に施設長がアドバイザー、後方支援として控え、活動の安全化、目づつ、有意義化を図っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			利用者の能力や個人差、趣向も踏まえたプログラムを企画している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8					

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			日々のミーティングと、時間帯で異なる出勤者への情報伝達を行っており、日毎に異なる活動内容、送迎担当の克明な情報提供を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8				
	23	定期的にもニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7		1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		3		相談支援事業所や教育機関と利用者の情報共有を電話や対面で行っているが、医療機関や他事業所との連携については不足している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		3		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		4		参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		2		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		2		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7		1		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		1		

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			個人情報の取り扱いに関する誓約書を従業員に説明している。個人情報を含む書類の廃棄はシュレッダーで裁断して処理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		1	地域のイベント（施設隣の広場開催）に参加し、利用者や保護者・職員が店番を行い、地域の方々と直接触れ合う機会として参加している。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		2		